

令和 8 年 5 月 29 日

鈴鹿工業高等専門学校

鈴鹿高専校長、デジタル大臣政務官と東北大学の

半導体関係産学連携施設等を視察

鈴鹿高専では三重県が半導体出荷額全国 1 位であることをふまえて半導体人材育成プログラムを実施しており、今後、東北大学とも連携して三重県半導体産業における産学官連携と人材育成を促進していくために、5 月 18 日に東北大学を訪問した。鈴鹿高専藤本慎司校長、柴垣寛治教授と同校産学連携組織「鈴鹿高専テクノプラザ」伊藤和泉会長は、川崎ひでとデジタル大臣政務官兼内閣府大臣政務官および笹岡秀太郎四日市市議と共に、マイクロシステム融合研究開発センター(μ SIC)では同センター長 戸津健太郎教授より同センターの 1,800 m² に及ぶクリーンルームに設置された 150 台以上の半導体製造・評価機器群が全国の半導体産業・研究機関の試験・試作あるいは人材育成に幅広く活用されているとの説明を受けた。次いで、東北大学キャンパス内に 2024 年より稼働している国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構所管 3 GeV 高輝度放射光施設「ナノテラス」を見学し、同機構小安重夫理事長、ナノテラス高橋正光センター長より、同施設の特徴とともに企業の利用に必要な高度なセキュリティー体制をもって運営されていることなどの説明を受けた。さらに、同大学本部にて青木孝文東北大学理事・副学長(企画総括担当)・プロボスト・CDO と面談し、同大の産学連携の現況と将来計画とともに川崎政務官が担当するデジタル・セキュリティーに関して意見交換した。今後、東北大学とも連携して三重県半導体産業における産学官連携と人材育成を促進していく。